

Windows Vista(Office2007)・Office2007・Internet Explorer7.0をご利用の皆様へ

オンライン2.0及びオンライン情報提供サービス、JTSB WEBポータルをWindows Vista(Office2007)、又はOSに関係なくOffice2007、Internet Explorer7.0でご利用いただくには、以下の設定が必要となります。

(1) Excelの設定

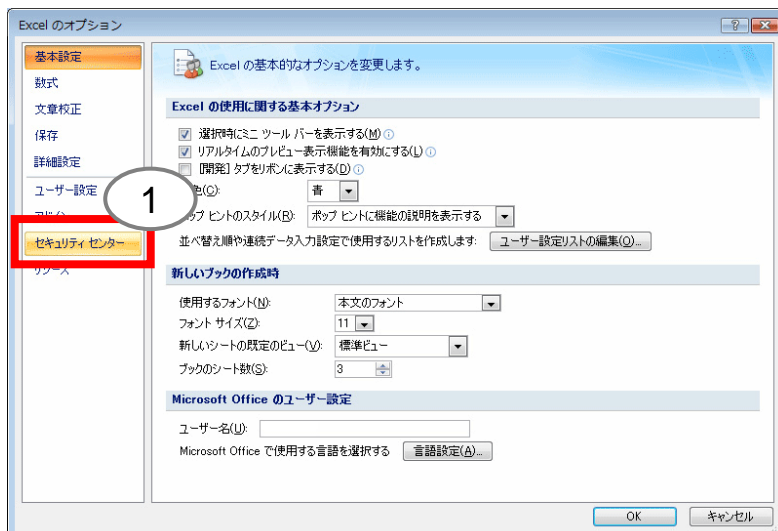
Excelの設定を行います。Excelを起動し、【手順1】へ進んで下さい。



【手順1】

- ①[Office]ボタンをクリックします。
- ②[Excelのオプション]ボタンをクリックします。

[Excelのオプション]画面が開きます。

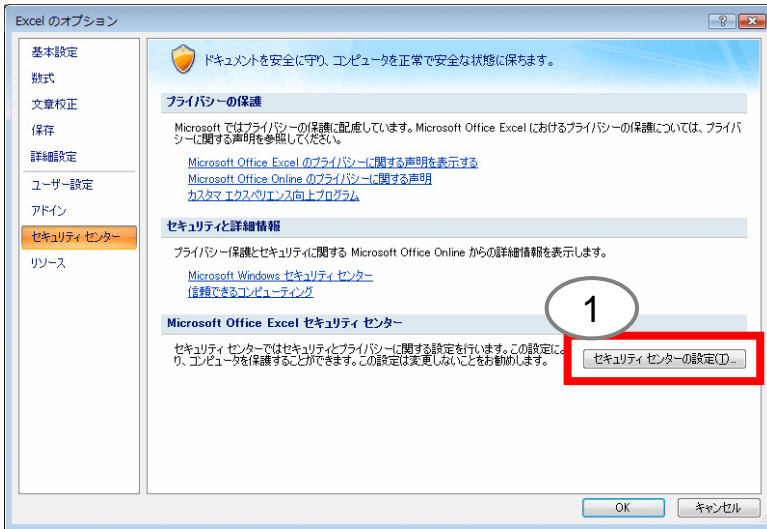


【手順2】

- ①[セキュリティセンター]ボタンをクリックします。

【手順3】へ続きます。

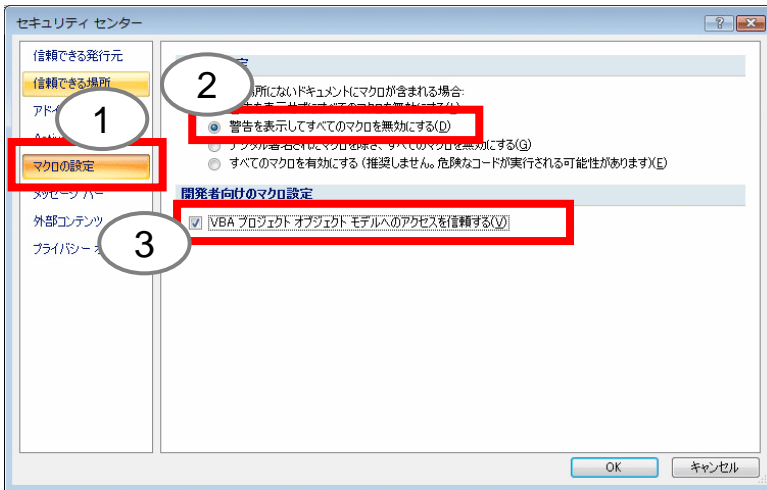
「セキュリティセンター」画面が表示されます。



【手順 3】

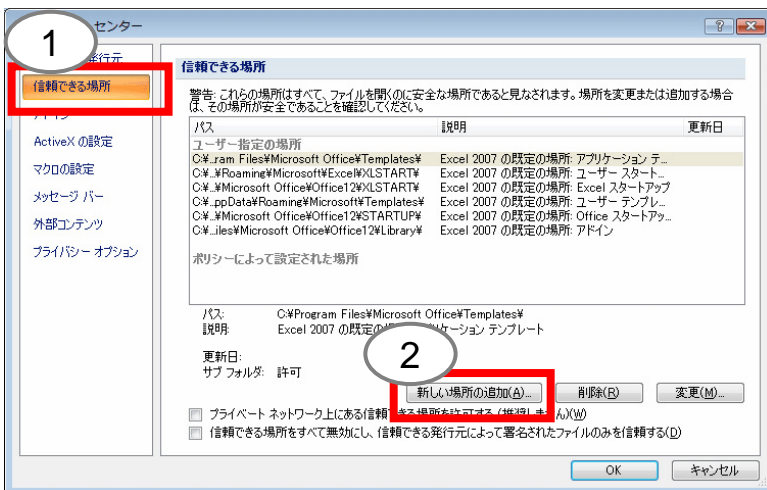
①[セキュリティセンターの設定] ボタンをクリックします。

[セキュリティセンター]設定画面が開きます。



【手順 4】

①[マクロの設定] ボタンをクリックします。
②[警告を表示してすべてのマクロを無効にする]にチェックを入れます。
③[VBAプロジェクト オブジェクトモデルへのアクセスを信頼する]にチェックを入れます。

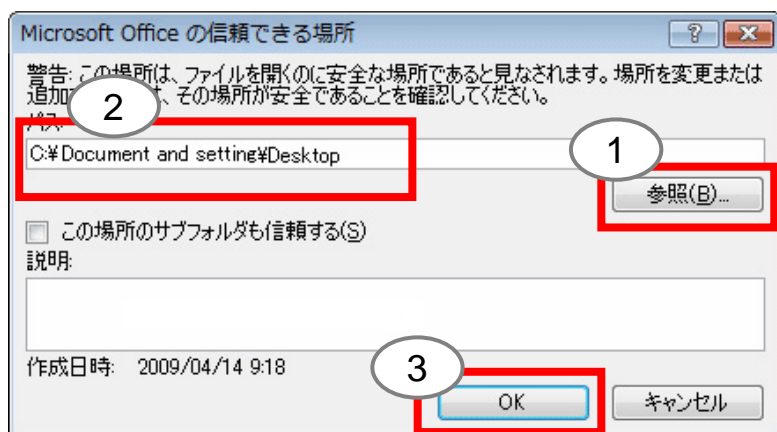


【手順 5】

①[信頼できる場所] ボタンをクリックします。
②[新しい場所の追加] ボタンをクリックします。

【手順6】へ続きます。

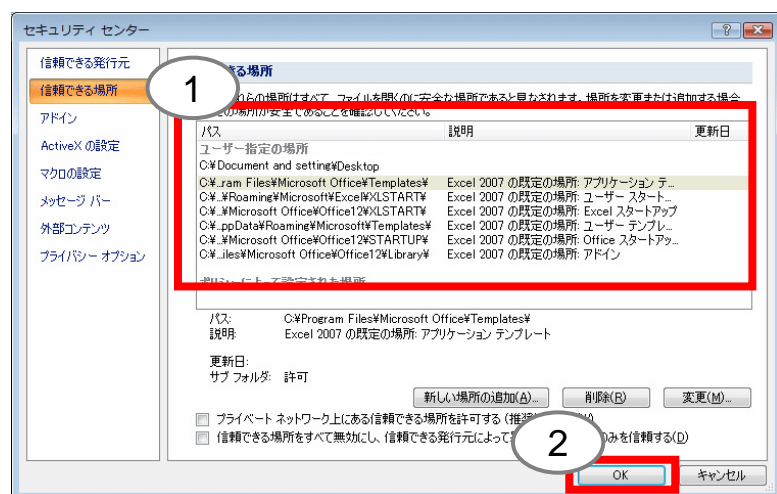
[Microsoft Officeの信頼できる場所]画面が開きます。



【手順 6】

- ①[参照]ボタンをクリックします。
- ②信頼できる場所を指定すると、パスが表示されます。
例: デスクトップ
- ③[OK]ボタンをクリックします。

[セキュリティセンター]画面に戻ります。



【手順 7】

- ①枠の中に手順6で設定した、信頼できる場所のパスが表示されます。
- ②[OK]ボタンをクリックします。

Excelの設定は終了です。

【 One Point 】 「信頼できる場所」の設定について

ご使用のパソコンにより、一部のサービスで「セキュリティ警告 マクロが無効にされました」と表示されることがあります。表示された場合は、①[オプション]をクリックします。②セキュリティ警告画面で[このコンテンツを有効にする]にチェックを入れて、③[OK]ボタンをクリックすると、帳票が表示されます。

※毎回表示されないようにするには、手順5～手順7の設定を行って下さい。但し、この設定を行うと信頼できる場所に設定したExcelマクロが自動で実行されることがありますので、ご注意下さい。

※ご使用のパソコンの設定を変更できない場合は、システムが制御されている可能性がありますので、御社のシステム担当部者にご相談下さい。

※ご利用の端末やOSを入れ替えた際は、再度パソコンの環境設定を行って下さい。

(2)Internet Explorerの設定

ウイルス対策ソフト等をご使用の場合は、当社のサイトを信頼済みサイトとして登録して下さい。
設定方法は、御社のシステム担当者、又はご使用のウイルス対策ソフト等の会社へお問い合わせ下さい。

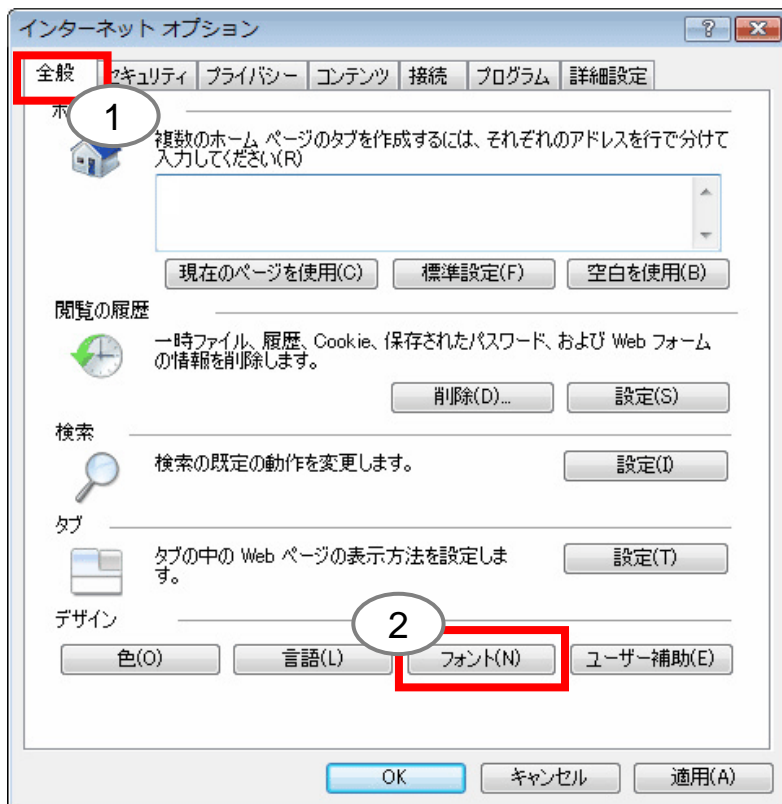
Internet Explorerの設定を行います。Internet Explorerを起動し、【手順1】へ進んで下さい。



【手順 1】

- ①[ツール]をクリックします。
- ②[インターネットオプション]を選択します。

「インターネットオプション」画面が開きます。

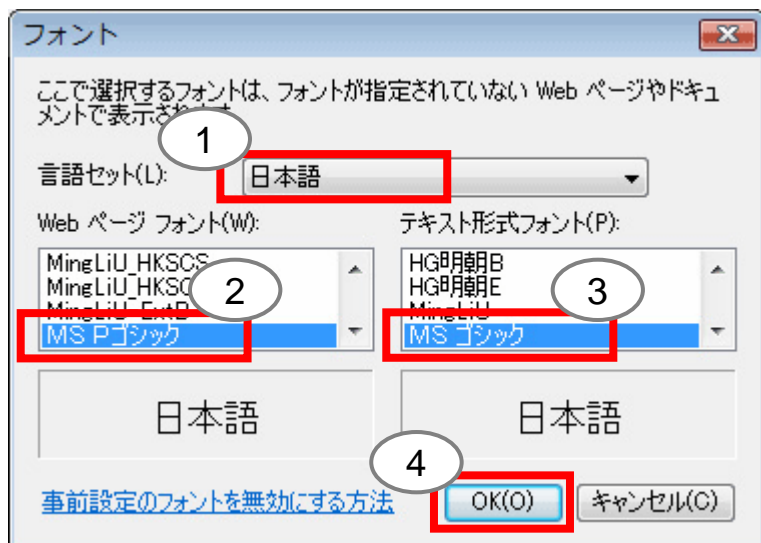


【手順 2】

- ①[全般]タブをクリックします。
- ②[フォント]ボタンをクリックします。

【手順3】へ続きます。

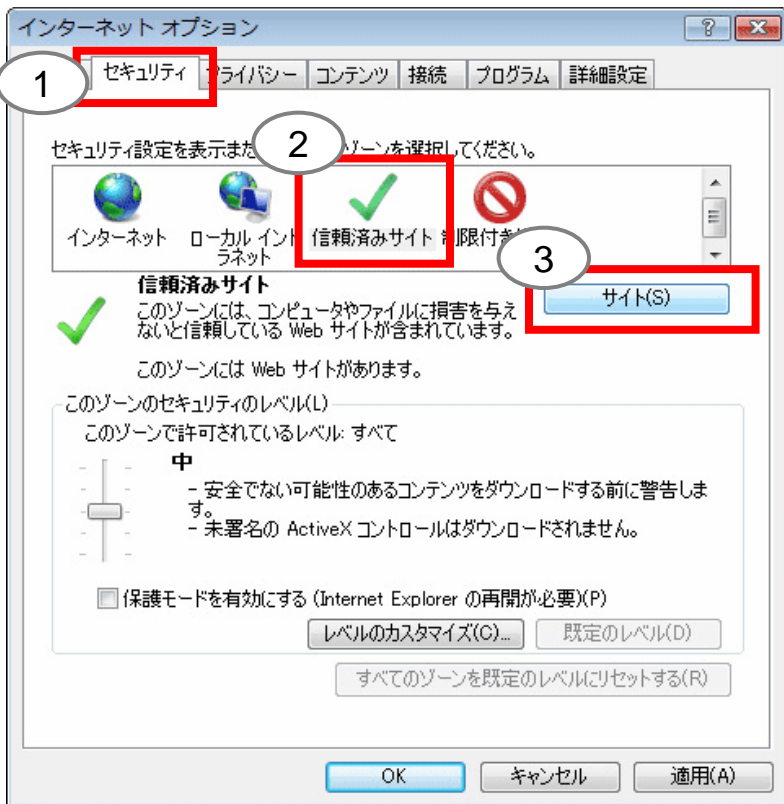
[フォント]画面が開きます。



【手順 3】

- ①言語セットは、[日本語]を選択します。
- ②Webページフォントは、[MS Pゴシック]を選択します。
- ③テキスト形式フォントは、[MS Gothic]を選択します。
- ④[OK]ボタンをクリックします。

[インターネットオプション]画面に戻ります。

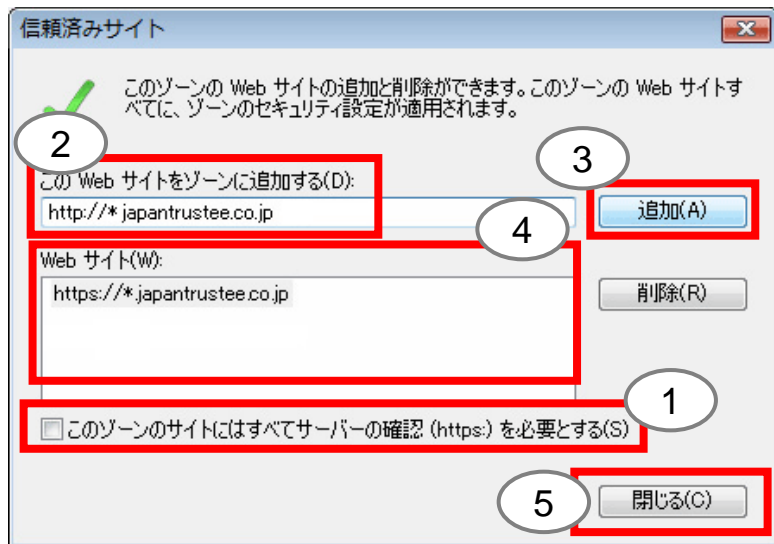


【手順 4】

- ①[セキュリティ]タブをクリックします。
- ②[信頼済みサイト]をクリックします。
- ③[サイト]ボタンをクリックします。

【手順5】へ続きます。

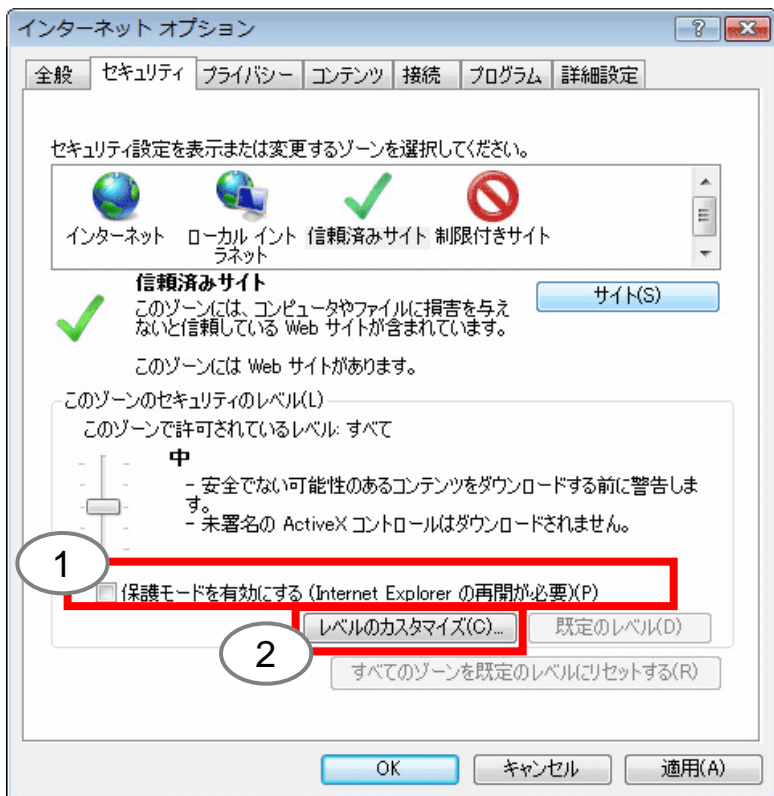
[信頼済みサイト]画面が開きます。



【手順 5】

- ①「このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認 (https:) を必要とする」のチェックを外します。
- ②下記のアドレスを半角英数で入力します。
https://*.japantrustee.co.jp
http://*.japantrustee.co.jp
- ③[追加]ボタンをクリックします。
- ④枠内に①で入力したアドレスが追加されます。
- ⑤[閉じる]ボタンをクリックします。

[インターネットオプション]画面に戻ります。

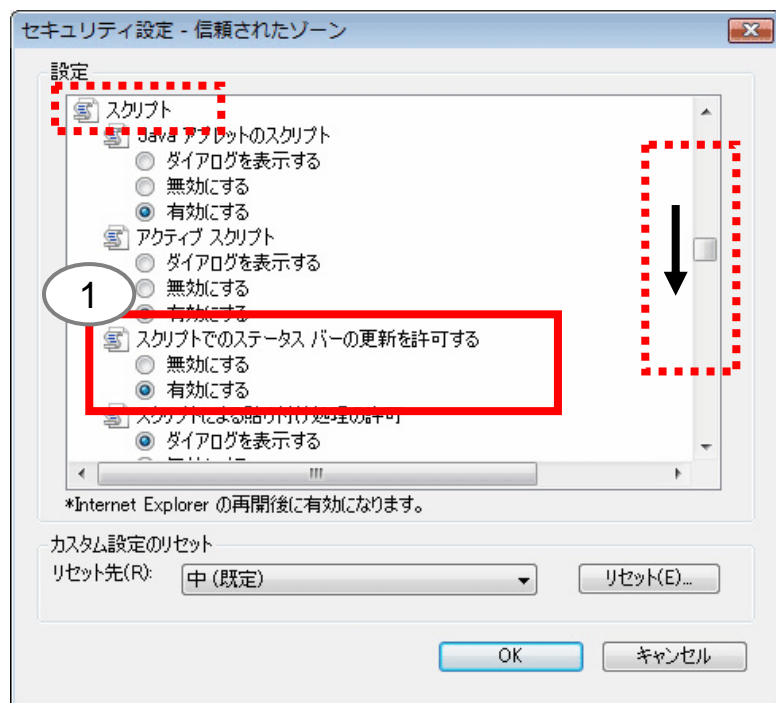


【手順 6】

- ①[保護モードを有効にする]のチェックを外します。
- ②[レベルのカスタマイズ]ボタンをクリックします。

【手順7】へ続きます。

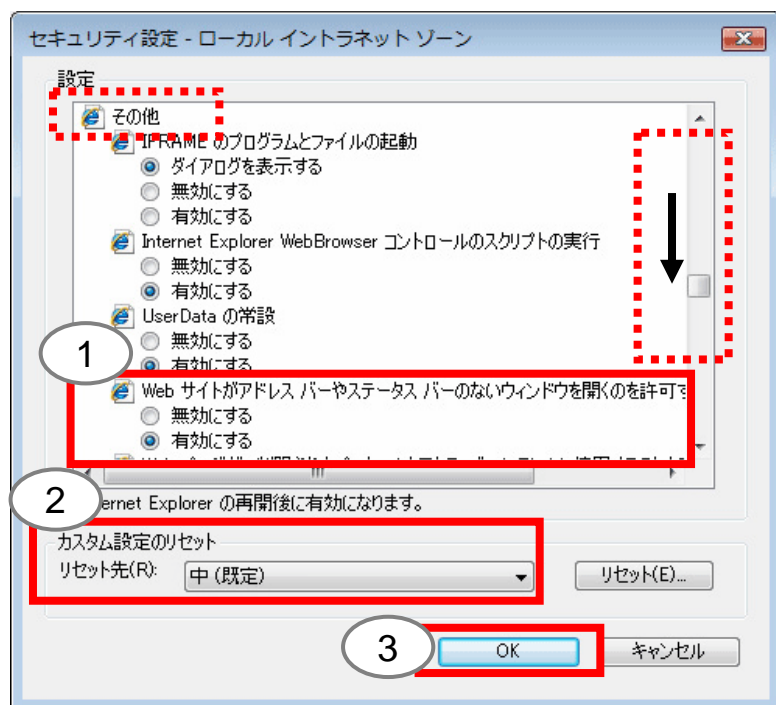
[セキュリティ設定－信頼されたゾーン]画面が開きます。



【手順 7】

①画面をスクロールし、[スクリプト]項目の中にある[スクリプトでのステータスバーの更新を許可する]で[有効にする]を選択します。

上記の画面から少し下のほうへスクロールします。



【手順 8】

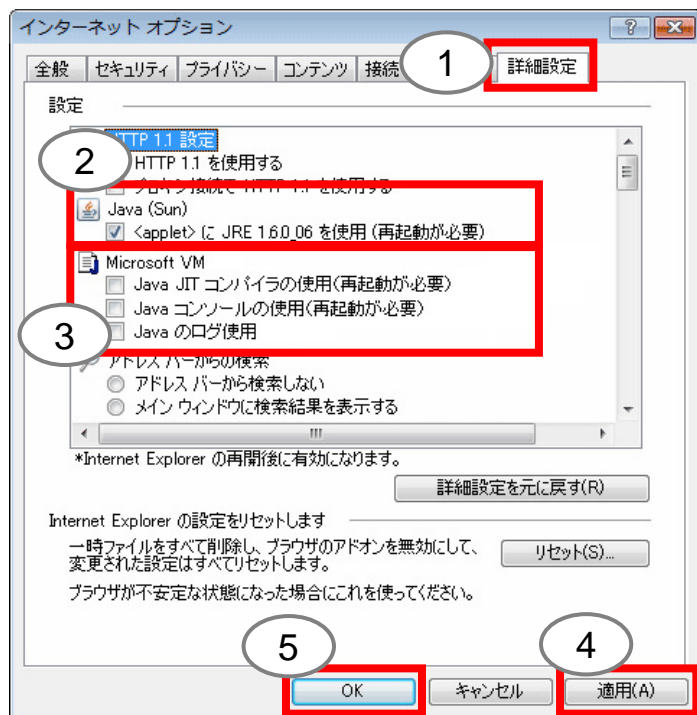
①少し画面をスクロールし、[その他]項目の中にある[Webサイトがアドレスバーやステータスバーのないウィンドウを開くのを許可する]で[有効にする]を選択します。

②カスタム設定のリセットで[中(規程)]を選択します。

③[OK]ボタンをクリックします。

【手順9】へ続きます。

[インターネットオプション]画面へ戻ります。



【手順 9】

- ① [詳細設定] タブをクリックします。
- ② [Java (Sun)] の項目の中にある [<applet> に JRE *.*.*_*_* を使用] にチェックを入れます。
- ③ [Microsoft VM] という項目がある場合は、全てのチェックボックスを外します。
※ [Microsoft VM] がない場合は、③の設定は不要です。
- ④ [適用] ボタンをクリックします。
- ⑤ [OK] ボタンをクリックします。

Internet Explorerの設定は終了です。

上記【手順9】で[Java(Sun)]項目がない(JREがインストールされていない)、又はインストールされているJREのバージョンが低い(1. 6. 0_06よりも数字が下の場合)場合は、次の(3)JREのインストールへ進んで下さい。

(3)JREのインストール

JREのインストール方法は、下記にJREインストーラとインストール手順が掲載されています。

※初めてログインする場合の操作方法は、「Step2 初回ログイン時の操作」をご参照下さい。

(初回ログイン時の操作 : <http://www.japantrustee.co.jp/service/guide02.html>)

オンライン情報提供サービスをご利用のお客様

オンライン情報提供サービスへログイン後、トップページの「JREのインストールはこちら」をクリックして下さい。

オンライン2. 0に切り替えたお客様

オンライン2. 0へログイン後、フッター部分の「必要ソフトウェア」をクリックして下さい。

投資顧問会社様

JTSB WEBポータルへログイン後、フッター部分の「必要ソフトウェア」をクリックして下さい。